

能

MAP1

DISCOVER NOH in KYOTO



650年、現在進行形。

能舞台の上に凝縮された日本の風情は観る人を時空を旅する感覚へいざなう。しかし、伝統的だけでなく、能（能楽）は、ひとの普遍的陰影を描いた物語が、極限まで磨きぬかれながらも生身の人間にしかない表現の美をもって、「あの世とこの世」、そして地域も時代も越えて進み続ける古典芸能だ。

舞台としての京都

なにげない道、山、川が古の物語や伝説の旧跡ということが京都にはよくある。和歌や古典の中の情景が今でも垣間見られ、京都の名所と呼ばれる場所の多くは、能の舞台背景でもある。能楽堂の他、社寺等の年間行事でも能が上演されるだけでなく、能に関連した講演、ワークショップや展覧会等のイベントも多い。また能装束の主要生産地の西陣もあり、能楽師のみならず能面打ちなど多くの職人がこの街を拠点にしている。京都は舞台上のみならず土地全体で能を体験できる唯一無二の場所といえる。

能をみる

能の演目はかなり多様性に富んでいる。物語の主人公だけとっても、老神や天女から武将や貴女の亡霊、花や草木の精から鬼神や怪物まで様々だ。このうち鬼神や怪物を扱った曲目などは動きが多い演出で短めの上演時間のものが多い為初心者も楽しみやすい。一方で、詞章の詩的表現や語りに重きをおいたもの、非常に幽雅な長い舞のあるものもある。能をみる前には、あらずじに目を通しておく事が薦められる。また、能楽公演においては狂言も上演されることが一般的だ。

いつ、どこで

市内中心部に観世会館と金剛能楽堂をはじめとした劇場が多数あり、土日祝の昼間を中心に年間を通して公演が行われている。チケットはおおよそ3,000円～6,000円が多い。学生用に割引価格が用意されている場合も多く、おおよそ2,000円～が多い。

A 京都観世会館

Kyoto Kanze Noh Theater



B 金剛能楽堂

The Kongo Noh Theatre



Discover Noh in Kyoto

京都で能について知りたい、能を観たい人に、能楽や関連イベントの情報を Facebook やウェブサイトにて発信中。



▲DNIK Website

公益社団法人
能楽協会
京都支部



DISCOVER NOH in KYOTO

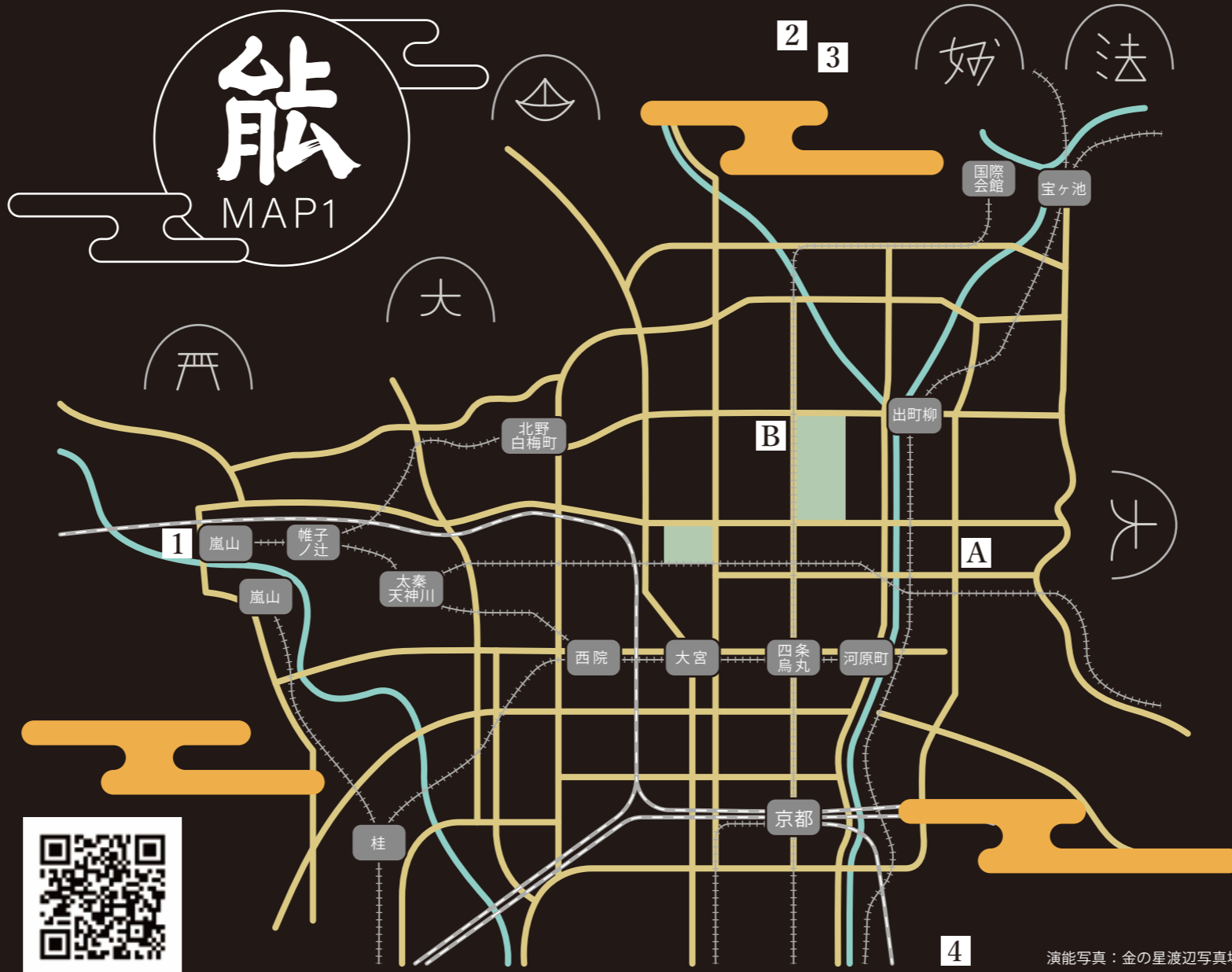
1 野宮神社「野宮」

逢瀬の地に囚われた女の亡霊

晩秋、黒木の鳥居と小柴垣に囲われた野宮の旧跡を訪れた旅の僧は、終わりゆく秋のうら寂しい情景を己の心情に重ねる女と出会う。女は毎年この日、都を立つ御息所と呼ばれた貴族の女を、その恋人である光源氏が訪ねてきた日に野宮を訪れるのだという。この女こそ、光源氏との思い出に縛られた御息所の幽霊なのだ。夜になり、御息所の霊を弔う僧の前に女が現れ、過去の思い出を語る。毎年繰り返す思いを嘆きながらも、女が鳥居を出ることは叶わないのだ。この野宮に由来する野々宮神社は嵯峨嵐山の竹林の中に建ち、黒木の鳥居と小柴垣が当時の面影を残している。



JR 嵯峨嵐山駅より徒歩 10 分、嵐電 嵐山駅より徒歩 6 分、渡月橋より徒歩 10 分



演能写真：金の星渡辺写真場

2 貴船神社奥宮「鉄輪」

嫉妬に狂い鬼となった女の復讐劇

女を捨てた男を恨み、深夜の山道を貴船神社に通う女に神が告げた。「赤い衣を着て顔に赤土を塗り、頭に鉄輪をのせ 3 本の蠟燭を立てる。そして激しい怒りの心を持って鬼になれる。」いまや女の髪は逆立ち、空には雷鳴がとどろいた。眠る男と後妻のもとに鬼となった女が現れ、後妻の髪を掴み打ち据える。いよいよ男の命を取ろうとした女だが、全ては異変を感じた男が頼った陰陽師の術による幻覚だった。陰陽師が呼び寄せた神の力を前に、女は恨み言を残し去っていった。女が通った貴船神社の奥宮には木々が生い茂り、今なお不気味な雰囲気漂わせている。



京都バス「貴船」停より徒歩 10 分、叡山電鉄 / 京都バス 貴船口駅 / 停より徒歩 45 分、または鞍馬よりハイキング 1 時間

3 鞍馬寺「鞍馬天狗」

大天狗に鍛えられた英雄の伝説

源氏と平氏の因縁に決着をつけ、平家打倒を成し遂げた源義経。彼が牛若丸の名で少年時代を過ごした鞍馬山には古来、天狗伝説が存在する。ある桜の美しい日、大天狗は鞍馬寺の僧に連れられた幼い牛若丸と出会った。牛若丸が将来敵である平家を倒す器だと見抜いた大天狗は牛若丸に修行をつける。季節は流れ、天狗の兵法を授かった牛若丸は凛々しい若者となった。師と仰いだ大天狗との別れの時、名残を惜しみ引き留める牛若丸を残し大天狗は去っていくのだった。牛若丸が修行したと伝わる鞍馬山には木の根が張り出した足場の悪い地形が残り、少年の修行の日々を偲ばせる。



叡山電鉄 / 京都バス 鞍馬駅 / 停より仁王門まで徒歩 2 分、さらに本殿金堂まで坂道を徒歩 20 分、または貴船よりハイキング 1 時間



JR 稲荷駅より本殿まで徒歩 5 分、さらに御劔社までは坂道を徒歩 40 分

4 伏見稲荷大社 御劔社「小鍛冶」

神 × 天才 = 伝説の刀 小狐丸

数ある名刀のなかでも最高ランクの刀といわれる「小狐丸」。この小鍛冶では、この刀の製作にまつわる伝説が語られる。帝に捧げる最高の刀を。命令を受けた刀鍛冶は刀を作るための相棒を求めたが、当代随一と謳われる彼に相応しい相手が見つからない。困り果てた彼は稲荷の神に助力を願った。慈悲深い神は神狐の姿となり、鎚を持って現れる。刀を打つ音が止んだ時、後の世に伝わる素晴らしい刀が誕生した。その後、神は雲に飛び乗り稲荷山へ帰っていく。その山に建っている神社こそ京都の伏見稲荷大社だ。